

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	敬愛大学	学部・学科名 ※	経済・国際・教育学部
科目名 ※	統計学Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	水曜・1限
キャンパス※	稲毛キャンパス	教室※	—
学修分野			
授業目的 ※	推測統計に必要な確率の基本, 推定, 検定を理解する.		
到達目標	確率の簡単な計算ができる, 点推定と区間推定ができる, 検定ができる.		
授業内容 授業形態 ※	推定の考え方／確率変数と確率分布／離散確率分布／連続確率分布／期待値と分散の性質／標準正規分布／正規分布／統計量の確率分布／点推定／区間推定／検定 授業は前半に講義し, 後半に演習を行う. 演習はmoodleで実施する.		
評価方法 ※	演習70%, 期末試験30%		
評価基準			
テキスト	統計学 オンデマンド (ペーパーバック) - 2023/1/13 吉田 直広 (著)		
注意事項			
授業シラバス	本学ポータルサイト「Keiai Campus Navigator」で確認すること。 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ トップ画面の「シラバス照会」から検索する。		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツ指導論	単位数 ※	2単位
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	水曜日2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	6-206
学修分野			
授業目的 ※	<p>本授業では、日本のスポーツ界の現状と目指すべき方向性を正しく理解し、「スポーツ科学」や「一貫指導システム」など指導を実践するうえで、最も基本となるフィールドについて概説する。また指導者は「望ましいプレイヤー」とは何かを描く必要があり、そのうえで、プレイヤーの自発性、積極性を導きだすことの重要性を概説する。</p>		
到達目標	<p>本授業を通じてスポーツ指導者が社会に求められる背景と役割を説明できるようになる。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>本授業では、スポーツ指導者の倫理や心構え等の重要性を学ぶ。さらに、世界をめざすアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割やプレイヤーと指導者の望ましい関係について学ぶ。</p> <p>また、指導計画のたて方やスポーツ活動と安全管理についても学ぶ。</p> <p>授業の後半は、講義だけでなくグループワークを中心に行う。</p>		
評価方法 ※	<p>毎回の授業内小レポート・授業外学習（50%）及び定期試験に代わる授業外レポート（50%）とし、総合的に評価する。</p>		
評価基準			
テキスト	<p>指定テキストは特にない。必要な教材は随時配布もしくは紹介する。</p>		
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	帝京平成大学	学部・学科名 ※	健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
科目名 ※	スポーツ経営・管理学	単位数 ※	2単位
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	水曜日2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	6-202
学修分野			
授業目的 ※	本授業では、総合型地域スポーツクラブの育成・運営を中心に、スポーツ経営学の基本的な考え方や構造・事業について概説する。		
到達目標	本授業は、日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャーに対応する科目であることから、スポーツ経営学とは何か説明できるようになる。また総合型地域スポーツクラブを育成・運営する起業家精神とは何か説明できるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	<p>本授業は、総合型地域スポーツクラブの育成・運営を中心に、スポーツ経営学の基本的な考え方や構造・事業について学ぶ。</p> <p>また、総合型地域スポーツクラブが育成される社会的・政策的な背景や国民の運動・スポーツ実践についても学ぶ。</p> <p>これらの知識は、社会体育指導者のみならず、保健体育科教員、スポーツ行政等を目指す学生にも重要である。</p> <p>授業の後半は、講義だけでなくグループワークを中心に行う。</p>		
評価方法 ※	小テスト、授業内試験、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。		
評価基準			
テキスト	指定テキストは特にない。必要な教材は随時配布もしくは紹介する。		
注意事項			
授業シラバス			

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策
科目名 ※	地域振興論	単位数 ※	2
開講学期※	2023年度 後学期	曜日・時限 ※	水曜4限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	
学修分野			
授業目的 ※	本講義では、人間の主要の生活空間を「地域」として捉えた時に生じる発展の可能性を認識することを目的とする。取り上げる実例としては「集客観光」施策を紹介し、地域住民の誇りであるシビックプライドの醸成面を見据えた企画立案及び実施手法を学ぶ。		
到達目標	<p>①地域における「シビックプライド」を醸成する振興策の提供価値を理解する</p> <p>② 観光振興策の手法各種を体得し、スキルを磨くとともに、自らの見識として身に付ける</p> <p>③ 課題の発見及び解決プロセスを経て提供価値を最大限に高める手法を養う</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>地域で求められている「経済効果」「継続性」を念頭に観光振興の具体策とその効果を紹介する。またより理解を深め、モチベーションを高めるために、地域振興に役立つ各種実践的スキルを個人およびグループ学習によって一から体得する。授業では、振興策において「提供価値」に自らの主体的な「介在価値」をどう盛り込めるかを意識して進めて行く。</p> <p>講義、討論、サービスラーニング等を複合的に用いる。</p> <p>各回の講義の中で必要に応じて、アクティブラーニングの手法を活用する。質問、意見を求めたり、学生によるプレゼンテーションの機会を設ける。</p> <p>【実務経験のある教員による授業科目】</p> <p>本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。</p> <p>詳細は以下をご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間からの専門職採用として千葉市観光プロモーション課課長を務め、同市の観光振興政策（インバウンド戦略立上げを含む）を数多く経験している。また、観光振興コンサルティング、情報発信経験も豊富で、観光情報誌の編集長から観光協会の専門員、行政の観光課課長、魅力発掘コンサルティングなど、長年にわたり、様々なポジションで、地域の観光振興を実現してきた経験を持つ。 		

<p>評価方法 ※</p>	<p>授業への参加姿勢（60点） 事前事後の学習・レポート（40点）</p> <p>■授業への参加姿勢について：以下4点において総合的に判断する</p> <p>①講師に近い前列のほうの席に座っており、しっかり授業に集中しているか？</p> <p>②アクティブラーニング（全7回程度）の際に講師は巡回するが、その時に見られた取組姿勢</p> <p>③質問を投げかけた時の対応（積極的な発言、まとを得た答えなど）</p> <p>④都度投げかけられる講師の指示に従っているか？（持参を指示したものなど忘れないように）</p> <p>■事前事後の学習・レポートについて：以下3点において総合的に判断する</p> <p>①提出しているか？</p> <p>②提出の形は指示通り（文字数限度、フォーマット利用など）になっているか？</p> <p>③引用や一般論ではなくて、そこに自分の見方、意見などが見られるか？</p>
<p>評価基準</p>	<p>授業参加の姿勢（授業内での発言、各課題への対応状況など授業への取組み状況等）60点、レポート（事前事後学習）40点、授業参加の姿勢点：36点以上、レポート（事前事後学習）提出点： 24点以上～59点：不可、60点～69点：C（合格）、70点～79点：B（合格） 80～89点：A（合格）、90～100点：S（合格）</p>
<p>テキスト</p>	<p>（ISBN番号：9784496055416） 『まちの魅力を引き出す編集力』（著者：桜井篤 発行元：(株)同友館 2021年）</p>
<p>注意事項</p>	<p>事前学習・事後学習を欠かさないこと。</p> <p>■毎回必ずノートをとること。</p> <p>このノートは講義の度にとることで、全授業終了の際には、自分の貴重な学習記録となり、社会に出た後にも使えるものとなるため、メモ用紙ではなく保存性のあるノート形式をおすすめする。</p> <p>本講義をやむを得ない理由で欠席・遅刻・早退する場合は、前もって講師に相談すること。事後相談は原則として受け付けない。</p>
<p>授業シラバス</p>	<p>「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。</p> <p>https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</p>

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉 コミュニティ政策
科目名 ※	政策立案論	単位数 ※	2
開講学期※	2023年度 後学期	曜日・時限 ※	水曜5限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	
学修分野			
授業目的 ※	本講義の目的は政策立案の必要性を理解すること、また政策がつくられる過程を理解すること、そして学問的に政策の立案過程がどのように捉えられてきたのかについて理解することである。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間の意思決定と公共の意思決定がどのように異なるのかを理解する。 ■ 自らが政策上の課題を発見できるようになり、その解決のための政策提案を考えられるようになる。 ■ 課題の提示や政策立案にあたって、自らがデータや論理を使って他者に説明できるようになる。 		
授業内容 授業形態 ※	<p>政策立案に係る理論的考え方や種々の課題について政策科学・行政学・公共選択論などの学問分野の知見を援用し、学習する。このため政策立案をめぐる歴史的な経緯を講義するとともに、現代の実際の問題を取り扱いどのような政策立案にあたって何が求められるのかを解説する。</p> <p>基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。授業内で数回グループワークを求めることがある。また各授業の終わりに授業内レポートの提出を求める。</p> <p>その際、インターネット等を通じて調査をしたり、データを集計することが必要であることがあり、各自、適切なデバイス（PC・タブレット等）を用意しておくことが望ましい。</p>		
評価方法 ※	授業内レポート、中間レポート、期末レポート、授業貢献度により総合的に評価する。		
評価基準	<p>授業内レポート 20% 中間レポート 30% 期末レポート 40%</p> <p>その他（グループワークへの参加回数、授業での発言回数） 10%</p> <p>S:100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：60点未満</p>		
テキスト	ISBN番号：9784121024398 『入門 公共政策学』 秋吉貴雄 中公新書 2017年		
注意事項	予習・復習を欠かさないこと。		

授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp
--------	---

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	コミュニティ政策
科目名 ※	比較政策論	単位数 ※	2
開講学期※	2023年度 後学期	曜日・時限 ※	水曜5限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	
学修分野			
授業目的 ※	本講義の目的は、講義を通じて、我が国で行われている国レベル、および、地方レベルの政策を理解し、諸外国の政策も参考にしながら、今後の公民の役割分担のあり方など、将来の日本の姿を構想するための基礎知識を身につけることである。		
到達目標	<p>本講義の到達目標は、以下の2点である。</p> <p>① 国、都道府県、地方自治体等の施策について問題意識を持ち、目的のものを調べることができる。</p> <p>② 身近な自治体が立案し実行している施策について比較し見解を述べることができる。</p>		
授業内容	<p>本講義では、地球的視座から、海外、国、都道府県、区市町村などの鳥の目から虫の目までの様々なレベルで、市民の立場に立って、政策を自分事として考える姿勢を重視する。政策は、行政主体が各種データや様々なステークホルダーの意見を踏まえながら立案し、地域社会をコントロールしていこうとするものであり、環境・みどり、公共事業・まちづくり、防災・安全安心、仕事・産業・観光、教育・文化、暮らし・福祉・健康などの多様な観点がある。本授業では、各分野について、各地域課題を踏まえた特徴的な政策について、歴史的・時間軸、地理的観点、方法論の妥当性等の切り口を見出し、比較検討を行う。</p>		

<p>授業形態 ※</p>	<p>基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法を活用する。学生から質問、意見を求めたり、必要に応じてグループワークの機会を設ける。</p> <p>【実務経験のある教員による授業科目】</p> <p>本科目は、実務経験のある教員による授業科目です。</p> <p>詳細は以下をご参照ください。</p> <p>担当教員は、民間企業、および国土交通省外郭団体を経て、現在は地方公共団体の職員として環境施策に携わっています。公共建築とコミュニティビジネスの専門性を核に、これまで、公共施設の計画、まちづくり、地区計画・地区街づくり計画、廃棄物施策、環境施策の立案・実施等の業務に従事してきました。また、NPOやNGOの役員を歴任し、市民の立場からも行政や施策のあり方について考えてきました。地域社会における行政と政策の役割は大きいと考えますが、市民と、市民が選出した議員や首長の考え方により、行政の政策は大きく変わります。自治体職員として感じたこと、考えることを、学生の皆さんが自分事として考えられるよう、講義内容を工夫していきたいと考えます。</p>
<p>評価方法 ※</p>	<p>① 授業内容に関するリアクションペーパー、②授業における発言（質問・意見・発表等）、 ③ レポートの提出をもとに総合的に判断する。</p>
<p>評価基準</p>	<p>① 授業内容に関するリアクションペーパー（感想・質問・意見等）：30点 ② 授業における発言（質問・意見・発表等）：30点 ③ レポートの提出（全体の講義を踏まえたレポート）：40点 合計：100点</p>
<p>テキスト</p>	<p>※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。</p>
<p>注意事項</p>	<p>特になし。</p>
<p>授業シラバス</p>	<p>「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。</p> <p>https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</p>

※は必須記入事項